

「平成30年度飼料用米多収日本一 関東農政局長賞」受賞者の取組概要

【千葉県】

褒賞名	関東農政局長賞
受賞者名	ナカジマ カズアキ 中嶋 和明
所在地	千葉県柏市
品種名及び作付面積	夢あおば:約1.5ha
10a当たり収量	702kg/10a
地域の平均単収からの増収	197.9kg/10a
取組内容	○経営形態・経営面積・作付品種及び各面積 ・水稻と露地野菜の複合経営で、経営面積は4.7ha(水稻:3.9ha、露地野菜(ほうれんそう、ねぎなど):0.8ha)。 ・水稻の作付品種は、主食用米(コシヒカリ)2.4ha、飼料用米(夢あおば)1.5ha。 ○多収品種への取組状況(取り組んでいる期間や経緯等)・作付品種及び面積・品種選択の理由等 ・既に柏市内で取組事例があり、省力化や作期分散が期待されることから、平成28年度から飼料用米(多収品種)に取り組んでいる。 ・作付品種は、倒伏しづらく、多収が見込まれる「夢あおば」を選択した。 ○多収を達成するために取り組んだことについて (播種形式・施肥方法・水管理等、生産性向上に向けた取組) ・自分で育苗用土を配合し、生育管理を行っている。 ・施肥は基肥と追肥の2回に分け、収量が上がるよう工夫している。 ○その他コスト削減等の取組があれば具体的に記載 ・田植え、施肥、除草剤散布を同時に実施することで、作業の効率化を図っている。